

17 西木地区 【水土里ネット西木】

水の大切さと地域環境を学ぼう～施設見学会～

10月20日に実施された西明寺小学校4年生の施設見学会は、今回で8回目となった。今年も宮田頭首工、小山寺頭首工、西明寺高区浄水場、下水処理施設の西明寺クリーンセンターの見学を行い、活動自体は毎年同じだが参加児童が毎回違うので、説明者も新しい気持ちで臨んでいる。

宮田頭首工では子供たちが、改良区の説明に熱心に聞き入り、メモをとっていた。最初に管理事務所の中を見て、遠隔操作で水門のゲートを調節することを知った後、管理橋の上ってその高さや長さ（100m）水深（2m）を知りました。また、桧木内川の上流から流れてきたゴミが取水口に溜っている様子を見て、何気なく捨てたゴミが川を汚すということを理解したと思う。また、自家発電機をみたとき、停電になっても大雨の場合にはゲートが自動で上がることも理解したようだった。

仙北市企業局の協力を得ての浄水場の見学では、最初に建物の外にある取水井戸で地下水を汲み上げ、炭酸を抜き、建物内で濾過機や塩素で浄化して、各家庭に供給されることを知った。

最後に仙北市下水道課の協力で下水処理場を見学させてもらった。そこでは、汚水を浄化するバクテリアの姿を電子顕微鏡で見ることが出来た。処理場で浄化された水は桧木内川に流れていく。

子ども達の感想の中には「見学で、水はすごく大切で、たくさんの人のおかげできれいな水を飲み安心して暮らせていることが分かった。きれいな川を守るために、ごみを投げて汚さないように気を付けていきたい」との感想もあったので、よく理解してもらったと思う。

後日、感想文を「きらきら発見」と題し文集にして配り、各家庭で読んでもらえるようにした。仙北市広報でも毎回大きく取り上げられて掲載になるので、市内全域で知られるようになっていっていると思う。



活動体制	
実施主体	水土里ネット西木（仙北市西木土地改良区）
後援・連携	西明寺小学校、仙北市役所
実施期間	10月20日
参加者	西明寺小学校4年生（25名）先生（2名）仙北市役所（8名）土地改良区（6名）
報道関連	広報SENBOKUせんぼく
活動実施年数	8年目（H19年～）
連絡先	〒014-0515 仙北市西木町門屋字漆原87 仙北市西木土地改良区 TEL. 0187-47-2602
その他	さなえ賞（H21）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット西木（伊藤 長三）					
○活動の目標及び達成率	目標	小学生を対象に水土里ネットの役割と「水と環境の大切さ」を考えてもらい、各家庭で話題にしてもらう			
	達成率	90%			
○活動に対する評価	8回目となる施設見学会は、すっかり定着したように思う。真剣に説明を聞く子供達の感想文には、「水は大切だ」「川にゴミを捨てない」という言葉が多かった。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	C	浸透、継続にはなっているが広がりはない。
①役職員・組合員の参加	B	施設見学会の様子を総代会での報告や市の広報に載せて活動を周知徹底している。	③運動の計画性	A	
②後継者育成の工夫	D	特にしていない。	4. 運動の成果		
2. 活動の意義性について			a. 組織活性化	D	
①基本理念の設定	A	当初から小学生の施設見学会を行い、改良区の役割と「水と環境の大切さ」を家庭の話題にしてもらおうと活動している。	b. 地域農業	D	
②地域の歴史等の伝承	B	水に関係する宮田頭首工と小山寺頭首工の2つの頭首工の見学や、浄水場・下水処理施設の見学をしている。	c. 地域コミュニティー	A	小学校との信頼関係が築けている。
③運動の先駆性	C		d. 地域資源管理	D	
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	A		・現在できる活動はしているが、他の活動も模索中である。		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他